

作成日： / /

会 社 名 : _____

部 門 名 : _____

ご担当者 : _____

(JIS Q 27001 (ISO27001))

マネジメントシステム構築支援仕様書

整理番号 _____

- 本仕様書の内容で不明の点はお問い合わせください。
- 追加をご希望する事項がありましたらお知らせください、検討いたします。
- 本仕様書は貴社内での検討のみにご使用いただき、管理をお願いいたします。

本間マネジメントオフィス

1. 本書の作成目的

本間マネジメントオフィス（以下「当オフィス」と略します）が貴社に提供するマネジメントシステム構築支援の内容を明確に示し、業務を円滑に進めるために作成しました。

2. 支援の概要

JIS Q 27001（ISO27001）に基づく情報セキュリティマネジメントシステム（以下「ISMS」と略します）の構築支援の方法は、貴社の管理責任者及び事務局（又は委員会、PJグループ）と共同して認証を目指す方法となります。

支援期間中に3回の訪問と電子メールによる問合せ（回数制限なし）、作成した文書の文書審査（回数制限なし）を行います。

3. 支援手順（役割の分担）

	貴社	当オフィス
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・認証機関の決定 ・管理責任者の選任、事務局の任命 ・構築体制の整備 ・支援内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・構築支援内容の詳細説明 ・見積書の提出 ・契約書の締結
構築	<ul style="list-style-type: none"> ・管理責任者、ISO事務局の任命 ・情報セキュリティ方針・目標の制定を行う ・各プロセスの現状分析を進める ・「ISMSマニュアル」の作成を進める。制定する。 ・記録帳票類を制定して運用を開始する。 ・キックオフ後は社員に対してISMSの周知、教育に努める。 ・内部監査員の確保のため教育訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴社を訪問（1回目訪問）して業務内容を確認し構築支援方針を確認する。 ・貴社を訪問（2回目の訪問）して定型のISMSマニュアルを提供し、ISMSマニュアルの章立て項立てを説明し、カスタマイズのポイントを示す。 ・運用を記録する定型の帳票類を貴社に提供し運用のポイントを説明する。（別紙1参照） ※貴社が現在運用している記録帳票類があればご提供ください。その内容を検討し、規格適合性との関連を調査し、ご報告いたします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・定型の文書類を自社の業務実態に合わせてカスタマイズする。 ・カスタマイズに関する疑問点は当オフィスに問合せ（電子メール）を行ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの問合せに対して回答、助言いたします。 ・カスタマイズした文書類の文書審査を行います。 ・貴社が定型の文書のカスタマイズが終了したタイミングを図って、貴社を訪問（3回目）し完成度を確認します。

運用 1	<ul style="list-style-type: none"> ・「ISMS マニュアル」に定めた手順に従って ISMS を運用する。 ・全部門で目標管理に取り組む ・制定した記録帳票類に運用の記録を残す。 ・業務実態と定めた手順の間に乖離があれば調整を行う。 ・内部監査を計画し実行する。 ・内部監査の総括を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご不明の点は電子メールでお問い合わせください。
第 1 段 階 審 査	<ul style="list-style-type: none"> ・第一段階審査の受審 ・検出された「懸念事項」への対応を行う。 ・「ISMS マニュアル」の改訂、帳票類の見直しを行う ・マネジメントレビュー（以下 MR と略す）を計画し内部監査の結果、第一段階審査の結果、目標管理の結果を報告し、経営者の承認を得る。指示事項があれば対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「懸念事項」を提示してください。対応方法をアドバイスいたします。 ※第一段階登録審査が終了し、審査チームから第二段階登録審査の見極めの結果、登録審査へ進むことが可能と判断が出た時点で、見積書に従ってコンサルタント費用の請求をさせていただきます。
運用 2	<ul style="list-style-type: none"> ・第一段階審査の結果、MR からの指示事項を踏まえて運用実績を重ねる ・必要があれば「ISMS マニュアル」の改訂、帳票類の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご不明の点は電子メールでお問い合わせください。
第 2 段 階 審 査	<ul style="list-style-type: none"> ・第二段階審査の受審 ・検出された「指摘事項」への対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「指摘事項」を提示してください。対応方法をアドバイスいたします。
運用 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ISMS マニュアルの改訂、帳票類の見直しを行う。 ・審査登録機関へ「ISMS マニュアル」「是正結果報告書」を送り是正完了の確認を得る 	<ul style="list-style-type: none"> ・審査登録機関に提出前に「ISMS マニュアル」「是正結果報告書」を提供してください。対応方法をアドバイスいたします。
認証	<ul style="list-style-type: none"> ・審査登録機関から「登録証」を得て登録となります。 ・顧客に登録の事実を知らせる、HP、カタログで登録時事実を公表する。 ・名刺にロゴマークを表示する。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">当オフィスからの支援契約が終了いたします。</p>	

4. 支援期間

支援開始から認証登録まで、または支援開始から18ヶ月の内どちらかが先に到来した時点で支援終了となります。

5. 支援オプション

構築支援中は3回の訪問と無料で文書審査と電子メールの問い合わせに対応いたしますが、ご要望に応じ有料で以下のオプションが提供可能です。

料金は指導料（1日5万円、半日3万円）、必要に応じて作成資料代、調査料、交通費となります。

- a) 内部監査員教育
- b) 内部監査へのオブザーブ
- c) 審査へのオブザーブ
- d) ISMS構築に関連する打合せ、会議への参加
- e) 調査、分析

6. 支援契約終了後のオプション

支援契約終了後はご要望があれば以下のオプションを提供可能です。

- a) 技術顧問契約を結んでいただければメールによる問い合わせに対応いたします。
(5万円/年)
- b) マニュアル改訂に伴う文書審査（3～5万円）
- c) 貴社を訪問した上で各種指導、相談対応
テーマごとの個別契約です、指導内容に応じて1日5万円、または半日3万円、必要に応じて作成資料代、調査料+交通費

以上

【別紙1 提供する定型のISMSマニュアル等の文書類、帳票類、書式】

ISMSマニュアル(本文編)

ISMSマニュアル(管理策編)

リスクアセスメント規程

適用宣言書

リスク分析表

内部監査員リスト

内部監査計画・報告書

是正処置要求・報告書

情報セキュリティ年間目標

情報セキュリティ年間計画

セキュリティ自己チェックリスト

内部監査チェック項目票

以上